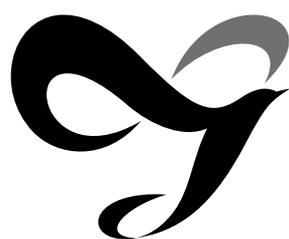


令和2（2020）年度

推薦入試Ⅱ 学生募集要項

（大学入試センター試験を課す推薦入試）



鳥取大学

目 次

地 域 学 部	1
1. 募集人員 2. 出願要件 3. 入試方法 4. 選抜方法と求める能力の関連	
医 学 部	3
1. 募集人員 2. 出願要件 3. 入試方法 4. 選抜方法と求める能力の関連 5. その他	
工 学 部	9
1. 募集人員 2. 出願要件 3. 入試方法 4. 選抜方法と求める能力の関連	
農 学 部	13
1. 募集人員 2. 出願要件 3. 入試方法 4. 選抜方法と求める能力の関連	
共 通 事 項	
1. 出願手続	16
2. 試験日時等	20
3. 受験上の注意事項	20
4. 合否判定方法	21
5. 合格発表	21
6. 入学手続	22
7. 学生生活案内	23
8. そ の 他	25
ノート型パソコン必携の情報処理教育について	26
試験場案内	27
入学に必要な学部別納入経費（予定）	29
大学入試センター試験受験教科・科目確認表	30

出 願 書 類

出 願 期 間	医(医・保)・農(共) 令和元年12月11日(水)～17日(火) 地・工・農(生) 令和2年1月21日(火)～24日(金) 医(生) 令和2年1月21日(火)～27日(月)
試 験 日	工 令和2年2月7日(金) 農 令和2年2月7日(金)・8日(土) 地・医 令和2年2月8日(土)
合 格 発 表	令和2年2月12日(水)
入 学 手 続 期 限	令和2年2月19日(水)

<不測の事態等が発生した場合の対応について>

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を以下の本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

【鳥取大学入学試験情報ホームページ】

PCサイト：<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

携帯電話サイト：<https://daigakuic.jp/toridai/>



地 域 学 部

1. 募 集 人 員

学 科 等	募 集 人 員
地域学科国際地域文化コース	6 人

(注) 合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般入試の合格者で補充します。

2. 出 願 要 件

令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の要件に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者

学 科 等	出 願 要 件
地 域 学 科 国際地域文化コース	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者であり、かつ、令和2年度大学入試センター試験のうち、本コースが定めた所定の全教科・科目を受験する者で、次の各号に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(1) 人物、学業成績がともに優れ、以下のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 言語・文学・考古・歴史を軸に日本の文化を学びたい人 b. グローバルな感覚をもって語学力や現地感覚を身につけたい人 c. 様々な文化・芸術に関心をもち、クリエイティブな力を高め活かしたい人 <p>(2) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>

令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科 等	受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目 名	
地 域 学 科 国際地域文化コース	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世B、日B、地理B、 現社、倫、政経、倫・政経 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B、簿・会、情報 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 又は物理、化学、生物、地学から1 英、独、仏、中、韓から1

から1
又は2

[3教科3(4)科目]

(注) 1. 地理歴史・公民、数学、理科から2科目以上受験した場合は、地理歴史・公民、理科の第1解答科目と数学のうち高得点の科目の成績を用います。

ただし、理科で、基礎を付した科目（2科目の合計点を得点とする。）及び基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目を理科の成績とします。

2. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限りません。

3. 入試方法

(1) 選考要領

学科等	選考要領
地域学科 国際地域文化コース	大学入試センター試験の成績，推薦書，自己推薦書（2,000字以内），調査書及び面接（自己表現を含む。）の結果により総合判定します。

（注）面接での自己表現では，出願要件の（1）a～cに関わることについて，5分以内で自己表現を行うこと。（英語による口頭発表や芸術実践の発表も可。）

(2) 大学入試センター試験と個別試験等の配点

学科等	試験の区分	教科等							合計	備考
		国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	面接	計		
地域学科 国際地域文化コース	センター試験	200	*100	*100	*100	200		500	800	
	個別試験						300	300		

（注）1. 配点欄の*印は選択科目を示します。

2. 大学入試センター試験の「英語」の得点は，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とします。

なお，リスニングを免除された者は，筆記試験（200点満点）を「英語」の得点とします。

4. 選抜方法と求める能力の関連

・地域学科国際地域文化コース

選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性協働性	創造性		
センター試験	○	○				500	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験（面接）	○	○	○	○	○	300	自己推薦書・調査書・推薦書は個別の評価は行わず，面接（自己表現を含む）とあわせて評価する。
合計						800	

医 学 部

1. 募集人員

学 科 等		募 集 人 員	
医 学 科	一般枠	15人	
	地域枠	5人	
生 命 科 学 科		5人	
保 健 学 科	看 護 学 専 攻	30人（地域枠10人以内を含む）	
	検 査 技 術 科 学 専 攻	10人	
計		65人	

(注) 合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般入試の合格者で補充します。

なお、医学科においては、「地域枠」の合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は「一般枠」の募集人員に加えます。それでもなお、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般入試の合格者で補充します。

2. 出願要件

令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の要件に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者

学 科 等	出 願 要 件	
医 学 科	一般枠	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、医学に興味を持ち、人物が優秀で、高等学校等の学習成績概評がA段階に属する者</p> <p>【推薦できる人数は、1高等学校等につき地域枠を含め8人以内とする】</p>
	地域枠	<p>鳥取県内の高等学校を平成30年3月及び平成31年3月に卒業した者（平成29年4月から平成31年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）であり、医学に興味を持ち、人物が優秀で、将来、鳥取県内の地域医療に貢献したいという強い意志を持つ者で、高等学校の学習成績概評がA段階に属し、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者</p> <p>この地域枠については、鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨をよく理解したうえで、出願してください。（入学後、鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）</p> <p>【推薦できる人数は、1高等学校につき9人以内とする】 （内訳） 卒業見込者：1高等学校につき一般枠を含め8人以内 既卒者：1人以内</p>

生 命 科 学 科		<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、生命科学に興味を持ち、人物・学力が優秀な者</p>	
保 健 学 科	看護学専攻	一般枠	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、次の各号のいずれかに該当する者（なお、(2)に該当する者を(1)で推薦することはできません。）</p> <p>(1) 医療に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 【推薦できる人数は、1高等学校等につき5人以内とする】</p> <p>(2) 看護学の修得に熱意を持ち、人物・学力が優秀で、高等学校等の看護に関する学科（衛生看護科）の科目を修得した者 【推薦できる人数は、1高等学校等につき1人とする】</p>
		地域枠	<p>将来、鳥取県内において看護職員（看護師・助産師・保健師）又は看護教員としてその業務に従事しようとする者で、原則として鳥取県内の高等学校を平成31年3月に卒業した者（平成30年4月から平成31年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「既卒者」という。）及び令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。以下「卒業見込者」という。）で、次の各号のいずれかに該当し、入学後、鳥取県の奨学金を必ず受給することを確約できる者（なお、(2)に該当する者を(1)で推薦することはできません。）</p> <p>(1) 医療に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 【推薦できる人数は、1高等学校につき6人以内とする】 (内訳) 卒業見込者：一般枠を含め5人以内 既卒者：1人以内</p> <p>(2) 看護学の修得に熱意を持ち、人物・学力が優秀で、高等学校の看護に関する学科（衛生看護科）の科目を修得した者 【推薦できる人数は、1高等学校につき1人とする】 この地域枠については、鳥取県の奨学金と連動しています。奨学金の趣旨を良く理解したうえで、出願してください。（入学後、鳥取県と奨学金の手続きをしていただきます。）</p>
	検査技術科学専攻	<p>高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、医療に興味を持ち、人物・学力が優秀な者 【推薦できる人数は、1高等学校等につき2人以内とする】</p>	

○医学科の「地域枠」の出願について

- ・高等学校の卒業年月と出願区分については、以下のとおりです。

卒業年月	出願区分	一般枠	地域枠 (鳥取県内の 高等学校 に限る)	備 考
平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月 (卒業見込み)		○	○	
平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月		×	○	
平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月		×	○	

- ・卒業見込者は「一般枠と地域枠」の併願が可能です。
- ・出願後に出願区分を変更することはできませんので、鳥取県の奨学金制度を十分理解のうえ出願してください。

- ・医学科地域枠奨学金制度

奨学金の額	12 万円/月 (年額 144 万円)
貸付期間	6 年間
返還免除の条件	①卒業から 2 年以内に医師免許を取得 ②臨床研修修了後 9 年以内に知事の指定する鳥取県内医療機関に 6 年間勤務
勤務先	鳥取県内の自治体立病院・診療所、公的病院、鳥取大学附属病院 (小児科・産科・救急科・精神科の場合は 3 年を、その他の診療科の場合は 1 年を上限とする)、救急告示病院 (鳥取大学附属病院を除く)、精神科救急医療施設等
診療科	限定しない
初期研修	◆県外病院も可 (今後、鳥取県内限定に変更することがあります。) ◆鳥取県内の医療機関で行った場合、その期間は返還免除に係る年数として算定

その他、奨学金制度の詳細については、鳥取県のホームページ等で確認をしてください。

○保健学科看護学専攻の「地域枠」の出願について

- ・鳥取県内高等学校の既卒者は「地域枠」のみ、卒業見込者は「一般枠」、「地域枠」及び「一般枠と地域枠の両方」のいずれかの区分で出願できます。
- ・鳥取県出身で鳥取県以外の高等学校に進学した者についても、出願を受理する場合があります。高等学校を通じて米子地区事務部学務課教育企画係までお問い合わせください。

- ・保健学科看護学専攻地域枠奨学金制度

奨学金の額	6 万円/月 (年額 72 万円)
貸付期間	4 年間
返還免除の条件	①卒業から 2 年以内に看護師免許を取得 ②県内の医療機関で常勤の看護職員 (保健師、助産師、看護師) 又は看護教員として引き続き 6 年間就業したとき。 ・半額免除：200 床以上の病院 (精神病床 80%以上の病院、医療型障害児入所施設を除く。) ・全額免除：上記以外の県内の施設

その他、奨学金制度の詳細については、鳥取県のホームページ等で確認をしてください。

令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学科等		受験を要する教科・科目名	
医学科	国 地歴・ 公民 数	国語（必須） 世 B, 日 B, 地理 B, 倫・政経 } から 1	[5 教科 7 科目]
	理 外	数 I ・数 A（必須） 数 II ・数 B（必須） 物理, 化学, 生物から 2 英, 独, 仏から 1	
生命科学科	国 地歴・ 公民 数	国語（必須） 世 B, 日 B, 地理 B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1	[5 教科 7 科目]
	理 外	数 I ・数 A（必須） 数 II ・数 B（必須） 物理, 化学, 生物から 2 英, 独, 仏から 1	
保健 学科	看護学 専攻	国語（必須） 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数 I ・数 A, 数 II, 数 II ・数 B, 簿・会, 情報から 1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から 2 又は物理, 化学, 生物から 2 英, 独, 仏から 1	[5 教科 6 科目]
	検査技術科学 専攻	国語（必須） 世 B, 日 B, 地理 B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から 1 数 I ・数 A（必須） 数 II ・数 B（必須） 物理, 化学, 生物から 2 英, 独, 仏から 1	[5 教科 7 科目]

- (注) 1. 地理歴史・公民で2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。(指定する科目を第1解答科目で受験していない場合、出願資格がありません。)
2. 保健学科看護学専攻において、数学を2科目受験した場合は、高得点の科目の成績を用います。また、理科で基礎を付していない科目から2科目を選択した場合は、2科目の合計点(200点満点)を配点(100点満点)に換算したものを「理科」の成績とします。
3. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限りです。

3. 入試方法

(1) 選考要領

学 科	選 考 要 領
医 学 科	大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合判定します。
生 命 学 科	大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合判定します。
保 健 学 科	大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書，小論文及び面接の結果により総合判定します。 なお，看護学専攻については，高等学校等の「衛生看護科」と「衛生看護科以外の学科」はそれぞれ別に評価します。

- (注) 1. 医学科の面接については，個人面接によって，社会常識，問題意識，医学を志す動機などについて質問し，その対応などを通じて，医師となるのにふさわしい資質，思考の柔軟性，発言の論理性等を総合的に評価します。
2. 生命科学科の面接については，個人又は集団で行います。
最近若しくは古今の重大発見に対する理解度や考え方の独創性などを評価します。
また，生命科学科を志す理由や将来展望など生命科学研究者としての資質，感性，倫理観及びコミュニケーション能力などを評価します。
3. 保健学科の面接については，個人又は集団面接によって，社会常識，問題意識，志向などについて質問し，その対応などを通じて，総合的に評価します。

(2) 大学入試センター試験と個別試験等の配点

学 科 等	試験の区分	教 科 等								合計	備考	
		国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	計			
医 学 科	センター試験	200	100	200	200	200			900	1,000		
	個別試験							100	100			
生 命 学 科	センター試験	200	100	200	200	200			900	1,100		
	個別試験							200	200			
保 健 学 科	看護学専攻	センター試験	200	100	100	100	200			700	900	
		個別試験						100	100	200		
	検査技術科学専攻	センター試験	100	100	200	200	200			800	1,000	
		個別試験						100	100	200		

- (注) 大学入試センター試験の「英語」の得点は，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とします。
なお，リスニングを免除された者は，筆記試験（200点満点）を「英語」の得点とします。

4. 選抜方法と求める能力の関連

・医学科

選抜方法	求める能力						配点	備考（活用方法など）
	知識技能	思考力判断力	表現力	主体性協働性	向上心創造力探究心	多角的視野		
センター試験	○	○					900	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験（面接）		○	○	○	○	○	100	調査書・推薦書は，面接の際の参考にする。
合計							1,000	

・生命科学科

選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
センター 試験	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験 （面接）	○	○	○	○	○	200	知識・技能と思考力・判断力を中心に総合的な観点から，科学的知識，倫理観，科学者としての資質を評価する。調査書，推薦書は，面接の際の主体性・協働性ならびに創造性の評価の参考にする。
調査書				○	○		
合計						1,100	

・保健学科看護学専攻

選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
センター 試験	○	○				700	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験 （小論文）	○	○	○			100	
個別試験 （面接）			○	○	○	100	調査書，推薦書は，主に主体性・協働性，創造性に着目し，面接の際の参考にする。
調査書				○	○		
合計						900	

・保健学科検査技術科学専攻

選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	創造性		
センター 試験	○	○				800	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験 （小論文）	○	○	○			100	
個別試験 （面接）			○	○	○	100	調査書，推薦書は，主に主体性・協働性，創造性に着目し，面接の際の参考にする。
調査書				○	○		
合計						1,000	

5. その他

奨学金制度の詳細については，鳥取県のホームページ等で確認してください。

工 学 部

1. 募集人員

学 科	募 集 人 員
電気情報系学科	7人
化学バイオ系学科	5人
社会システム土木系学科	5人
計	17人

(注) 合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般入試の合格者で補充します。

2. 出願要件

令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の要件に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者

学 科	出 願 要 件
電気情報系学科	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した者又は令和2年3月卒業見込みの者（高等専門学校第3学年修了者又は令和2年3月修了見込みの者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、人物、学業成績がともに優れ、工学の学習に熱意のある者
化学バイオ系学科	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、人物、学業成績がともに優れ、工学（特に化学、バイオテクノロジー）の学習に熱意のある者
社会システム土木系学科	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認められた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、人物、学業成績がともに優れ、工学（特に経営工学）の学習に熱意のある者

令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目 名	
電気情報系学科	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ(必須) 数Ⅱ・数Ⅲ, 簿・会, 情報から1 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科4科目]
化学バイオ系学科	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語(必須) 世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ, } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数Ⅱ(必須) 数Ⅱ・数Ⅲ, 簿・会, 情報から1 化学(必須) 物理, 生物から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]
社会システム土木系学科	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語(必須) 世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ, } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数Ⅱ(必須) 数Ⅱ・数Ⅲ, 簿・会, 情報から1 物理(必須) 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]

- (注) 1. 地理歴史・公民を2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を用います。
 2. 数学で, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は, 高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。
 3. 電気情報系学科において, 理科の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は, 第1解答科目の成績を用います。

3. 入試方法

(1) 選考要領

学 科	選 考 要 領
電 気 情 報 系 学 科	大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書及び面接（数学，物理等の基礎学力に関する試問を含む。）の結果により総合判定します。
化 学 バイ オ 系 学 科	大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書及び面接（数学，化学等の基礎学力に関する試問を含む。）の結果により総合判定します。
社会システム土木系学科	大学入試センター試験の成績，調査書，推薦書及び面接の結果により総合判定します。

(2) 大学入試センター試験と個別試験等の配点

学 科	試験の 区 分	教 科 等								合計	備考
		国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	面接・ 推薦書	調 査 書	計		
電 気 情 報 系 学 科	センター試験			200	100	100			400	550	
	個別試験						100		100		
	書類審査							50	50		
化 学 バイ オ 系 学 科	センター試験	100	50	100	200	250			700	1,000	
	個別試験						250		250		
	書類審査							50	50		
社会システム土木系学科	センター試験	100	50	200	200	100			650	800	
	個別試験						100		100		
	書類審査							50	50		

(注) 大学入試センター試験の「英語」の得点は，筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とし，上表の配点に換算します。
 なお，リスニングを免除された者は，筆記試験（200点満点）の得点を上表の配点に換算します。

4. 選抜方法と求める能力の関連

・電気情報系学科

選抜方法	求める能力			配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
センター 試験	○	○		400	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験 （面接・ 推薦書）	○	○	○	100	面接には，数学・物理等の基礎学力（教科書レベル）に関する試問も含む。総じてコミュニケーション能力を評価しつつ，基礎学力についても評価する。推薦書は得点化せず，面接の際の参考にする。
書類審査 （調査書）	○		○	50	高校での学習成績の状況等を評価する。
合計				550	

・化学バイオ系学科

選抜方法	求める能力			配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
センター 試験	○	○		700	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験 （面接・ 推薦書）	○	○	○	250	面接は，数学・化学等の基礎学力に関する試問を含む。推薦書は得点化せず，面接の際の参考にする。
書類審査 （調査書）	○		○	50	高校での学習成績の状況等を評価する。
合計				1,000	

・社会システム土木系学科

選抜方法	求める能力			配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 協働性		
センター 試験	○	○		650	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験 （面接・ 推薦書）	○	○	○	100	推薦書は得点化せず，面接の際の参考にする。
書類審査 （調査書）	○		○	50	高校での学習成績の状況等を評価する。
合計				800	

農 学 部

1. 募集人員

学 科	募 集 人 員
生 命 環 境 農 学 科	40人（募集方法（B）5人程度を含む）
共 同 獣 医 学 科	5人
計	45人

（注）合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般入試の合格者で補充します。

2. 出願要件

令和2年度大学入試センター試験を受験する者で、次の要件に該当し、高等学校等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合は入学することを確約できる者

学 科	出 願 要 件
生 命 環 境 農 学 科	募集方法（A）：課題探求型 高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を平成31年3月に卒業した者（平成30年4月から平成31年3月までの学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）及び令和2年3月卒業見込みの者（平成31年4月以降、学年の途中において高等学校を卒業した者を含む。）、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、食料の生産や流通、環境保全、生物資源の利活用、食品・創薬などに関係する分野における課題探求に熱意があり次のいずれかに該当する者 (1) 高等学校の学習における特定の教科・科目に関する秀でた能力を有する者 (2) 人物が優れている者
	募集方法（B）：地域貢献型 令和2年度農学部生命環境農学科推薦Ⅱの募集方法（A）「課題探求型」に出願する者で、地域の活性化に貢献しようとする強い意志を有する者
共 同 獣 医 学 科	高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を令和2年3月卒業見込みの者、あるいは本学において、個別の入学資格審査により、前段と同等であると認めた者であって、令和2年3月31日までに満18歳に達する者で、次の要件に該当する者 (1) 人物及び学力が優秀であり、獣医学に強い関心を持つ者 (2) 獣医学を学ぶ強い意欲と、6年間の修学を継続する強い意志を持つ者 (3) 獣医師の社会的役割を十分に理解し、かつ、高いコミュニケーション能力を備える者

令和2年度大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 科	受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目 名	
生命環境農学科	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（近代以降の文章） 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数 A, 数Ⅱ・数 B, 簿・会, 情報 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から 2 又は物理, 化学, 生物, 地学から 1 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 〕 から 1 [3教科3(4)科目]
共同獣医学科	国 地歴・ 公民 数 理 外	国語（必須） 世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ・数 A（必須） 数Ⅱ・数 B（必須） 物理, 化学, 生物, 地学から 2 英, 独, 仏, 中, 韓から 1 〕 から 1 [5教科7科目]

- (注) 1. 生命環境農学科において、国語、地理歴史・公民及び数学から2科目以上受験した場合は、地理歴史・公民の第1解答科目と国語、数学のうち高得点の科目の成績を用います。
 また、理科の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。基礎を付した科目（2科目の合計点を得点とする。）及び基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目を理科の成績とします。
2. 共同獣医学科において、地理歴史・公民で2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。
3. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者に限ります。

3. 入 試 方 法

(1) 選 考 要 領

学 科	選 考 要 領
生命環境農学科	大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書、小論文（地域貢献型出願者のみ）及び面接（科学の一般常識を問う試問を含む。）の結果により総合判定します。
共同獣医学科	大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書、小論文及び面接（科学の一般常識を問う試問を含む。）の結果により総合判定します。

(2) 大学入試センター試験と個別試験等の配点

学 科	試験の区分	教 科 等								合計	備考
		国語	地歴・ 公民	数学	理科	外国語	小論文	面接・ 調査書・ 推薦書	計		
生命環境農学科(A)	センター試験	*100	*100	*100	100	200			400	600	
	個別試験							200	200		
生命環境農学科(B)	センター試験	*50	*50	*50	50	100			200	600	
	個別試験						200	200	400		
共同獣医学科	センター試験	200	100	200	200	200			900	2,750	
	個別試験						800	1,050	1,850		

- (注) 1. 配点欄の*印は選択科目を示します。
2. 大学入試センター試験の「英語」の得点は、生命環境農学科（募集方法（A））については、筆記試験（200点満点）を0.75倍（150点満点）したものと、リスニング（50点満点）の合計点（200点満点）を、生命環境農学科（募集方法（B））については、募集方法（A）の合計点を0.5倍（100点満点）したものを、共同獣医学科については、筆記試験（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計点を0.8倍（200点満点）したものを「英語」の得点とします。
 なお、リスニングを免除された者は、筆記試験（200点満点）を「英語」の得点とします。

4. 選抜方法と求める能力の関連

・生命環境農学科（募集方法（A））

選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	農学の 課題解決 に対する 意欲		
センター 試験	○	○				400	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験 （面接）		◎	○	○	◎	200	面接では，思考力・判断力，表現力，主体性・協働性，農学の課題解決に対する意欲を評価する。
個別試験 （調査書・ 推薦書）	○	○		○	○		調査書・推薦書は，総合的な観点で知識・技能，思考力・判断力，主体性・協働性，農学の課題解決に対する意欲を評価する。
合計						600	

※農学部生命環境農学科においては，◎は特に重視している項目を示しています。

・生命環境農学科（募集方法（B））

選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	農学・ 地域貢献 に対する 意欲		
センター 試験	○	○				200	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験 （面接）		◎	○	○	◎	200	面接では，思考力・判断力，表現力，主体性・協働性，農学・地域貢献に対する意欲を評価する。
個別試験 （調査書・ 推薦書）	○	○		○	○		調査書・推薦書は，総合的な観点で知識・技能，思考力・判断力，主体性・協働性，農学・地域貢献に対する意欲を評価する。
個別試験 （小論文）	○			○	◎	200	小論文は，知識・技能だけでなく，主体性・協働性，農学・地域貢献に対する意欲も問う。
合計						600	

※農学部生命環境農学科においては，◎は特に重視している項目を示しています。

・共同獣医学科

選抜方法	求める能力					配点	備考（活用方法など）
	知識 技能	思考力 判断力	表現力	主体性 協働性	多様性		
センター 試験	○	○				900	高等学校段階における基礎的な学力，大学での学習に必要な知識・技能，思考力・判断力を評価する。
個別試験 （面接）		○	○	○	○	1,050	面接は，思考力・判断力，表現力，主体性・協働性，多様性を評価する。調査書・推薦書では，高校での学習成績の状況等を評価する。
個別試験 （調査書）	○			○	○		
個別試験 （推薦書）				○			
個別試験 （小論文）	○	○	○		○	800	小論文は，知識・技能，思考力・判断力，表現力，多様性を評価する。
合計						2,750	

共通事項

1. 出願手続

(1) 出願期間

出願する学部・学科によって出願期間が異なりますのでご注意ください。

・医学部（医学科・保健学科）及び農学部（共同獣医学科）

令和元年12月11日（水）～12月17日（火）（必着）

出願書類等は、**必ず簡易書留・速達で12月17日（火）までに**必着となるように郵送してください。
これ以降に到着した場合は、12月16日（月）以前（12月16日（月）を含む）の発信局消印があるもの
のみに限り受け付けます。郵便事情を十分考慮して発送してください。

・地域学部，工学部及び農学部（生命環境農学科）

令和2年1月21日（火）～1月24日（金）（必着）

出願書類等は、**必ず簡易書留・速達で1月24日（金）までに**必着となるように郵送してください。
これ以降に到着した場合は、1月22日（水）以前（1月22日（水）を含む）の発信局消印があるもの
のみに限り受け付けます。郵便事情を十分考慮して発送してください。

・医学部（生命科学科）

令和2年1月21日（火）～1月27日（月）（必着）

出願書類等は、**必ず簡易書留・速達で1月27日（月）までに**必着となるように郵送してください。
これ以降に到着した場合は、1月25日（土）以前（1月25日（土）を含む）の発信局消印があるもの
のみに限り受け付けます。郵便事情を十分考慮して発送してください。

インターネット出願登録及び検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。

上記出願期間内に出願書類等を郵送（必着）する必要があります。

◆インターネット出願ページ <<https://e-apply.jp/e/tottori-u/>>

(2) 出願方法

出願はインターネット出願のみとします。

入学志願者は、上記出願期間中に本学の「インターネット出願ページ」より、インターネット出願登録と検定料の支払いを済ませ、なおかつ出願書類等を本学に郵送してください。

出願書類等の受領確認は電話でお答えすることはできませんので、日本郵便ホームページ等の追跡サービスで確認してください。

なお、出願書類等を持参する場合は、平日（9：00 から 17：00 まで）のみ、学生部入試課（共通教育棟 2 階）又は米子地区事務部学務課（総合教育棟 1 階）で受け付けます。

○インターネット出願ページ <<https://e-apply.jp/e/tottori-u/>>



【問い合わせ先等】

○インターネット出願登録の方法、検定料支払方法に関する問い合わせ先
(株) ディスコ「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター
TEL:0120-202-079 (24 時間 365 日対応)

※入試に関する質問については、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

○入試に関する問い合わせ先／出願書類等提出先
鳥取大学学生部入試課
〒680-8550 鳥取市湖山町南 4 丁目 101 番地
TEL: (0857) 31-5061 (平日 9:00~17:00)

① インターネット出願登録のために事前に準備するもの

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。(スマートフォンによってはご使用になれない場合があります。その場合はパソコンをご使用ください。)
印刷環境	出願書類等を A4 用紙で印刷します。
メールアドレス及びメールの設定	出願にはメールアドレスが必要です。出願登録時にお知らせメールを送信します。 また、メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は、メールが届かないことがありますので、「@e-apply.jp」を受信可能なドメインとして設定してください。
志願者本人の顔写真データ	出願には志願者本人の顔写真データ (jpeg, png, bitmap, gif) が必要です。上半身・無帽・正面向きで、提出前 3 か月以内に撮影した鮮明な写真をご準備ください。ファイルは 2 MB までとします。 なお、出願写真として適切でないと判断された場合は、再提出となる場合があります。

◆インターネット出願ページ <<https://e-apply.jp/e/tottori-u/>>

② 検定料 (17,000 円) 支払方法等

検定料の支払いは、コンビニエンスストア、クレジットカード、郵便局・銀行 ATM（ペイジー対応）、ネットバンキングのいずれかの方法で行ってください。支払期限はインターネット出願登録を完了した日を含む 4 日以内の 23 時 59 分までです。ただし、インターネット出願登録を完了した日から 4 日に満たず出願締切日時（出願する学部・学科ごとの出願締切日 17:00）になった場合は、出願締切日時までとなります。

なお、振込手数料は振込者負担となりますのでご了承ください。

それぞれの支払方法に関する詳細は、「インターネット出願ページ」をご確認ください。

※検定料の返還について

既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- (1) 検定料を振り込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合
- (2) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合
- (3) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- (4) 出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

上記(1)～(3)に該当する場合は、必ず学生部入試課(TEL (0857) 31-5061)へ連絡してください。

返還方法等の詳細については、文書でお知らせします。(4)に該当する場合には、返還方法等詳細を文書により通知のうえ、本学が定める額を返還いたします。

③ 出願書類等

センター試験 成績請求票	<p>大学入試センターから送付された大学入試センター試験の受験票についている「センター試験成績請求票」（国公立推薦入試用）を本学の「インターネット出願ページ」から印刷したセンター試験成績請求票貼付台紙に貼り付けてください。</p> <p>出願書類等提出時にセンター試験成績請求票が未着の場合は、その旨を記載したメモを同封し、届き次第、成績請求票をセンター試験成績請求票貼付台紙に貼って送付してください。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 推 薦 令和 2 センター試験成績請求票 国 公 立 推 薦 入 試 用 </div>
調 査 書	文部科学省所定の様式により、出身高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。
推 薦 書	出身高等学校等の長が作成し、厳封したものを提出してください。 (本学の「ホームページ」から Word ファイルをダウンロードし、入力（記入）してください。A3 サイズで印刷してください。)
自 己 推 薦 書	本学の「ホームページ」から所定の様式を、A4 サイズで印刷の上、志願者本人の直筆により記入してください。 (地域学部を志願する者のみ提出してください。)
受 験 票 等 返 送 用 封 筒 (374 円分の 切手を貼付)	市販の長形 3 号封筒 (12cm×23.5cm) に、本学の「インターネット出願ページ」から印刷した受験票等返送用封筒宛名ラベル及び 374 円分の切手を貼り付けてください。

記入上の注意事項

1. 必ず志願者本人が黒インク又は黒のボールペンで正確かつ丁寧に記入してください。
2. 誤って記入した場合は、二重線で消し、訂正してください。(訂正印は不要)
3. 出願書類等に記入もれ、その他不備のある場合は受付しません。
4. 出願書類等受付後は、原則記載事項の変更は認めませんが、**出願書類等提出後に本人連絡先を変更した場合は直ちに鳥取大学学生部入試課に連絡してください。**
5. 出願書類等の記載内容と相違する事実が発見された場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
6. 出願書類等は、受理後いかなる理由があっても返却しません。

◆インターネット出願ページ <<https://e-apply.jp/e/tottori-u/>>

④ 出願書類等の提出方法

1. 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に、本学の「インターネット出願ページ」から印刷した出願書類等提出用封筒宛名ラベルを貼り付けてください。
2. 上記1. で作成した出願書類等提出用封筒に③出願書類等を封入し、**必ず簡易書留・速達で出願する学部・学科の出願締切日までに必着**となるように郵送してください。
郵便事情を十分考慮して発送してください。

(3) 本学が個別に入学資格審査を行う場合の注意事項

出願資格のうち、学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条第7号の規定により出願する場合は、出身教育施設での学習内容及び当該教育施設の教育課程について、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、事前に申請方法を問い合わせてください。

問い合わせ先 学生部入試課 TEL (0857) 31-5061

入学資格審査申請書提出期間 令和元年11月1日(金)～11月8日(金)17時まで(必着)

(4) 出願にあたっての注意事項

- ① 本学の推薦入試に出願した者は、他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。)の推薦入試に出願することはできません。
ただし、推薦入試に不合格となった場合に備えて、前期日程で試験を実施する大学・学部から一つ、後期日程で試験を実施する大学・学部から一つ及び公立大学の中期日程で試験を実施する大学・学部から一つの大学・学部に出願することができます。(出願要件に注意のこと)
※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/>)参照
- ② 大学入試センター試験の「英語」で「リスニング」を欠席した場合は、「リスニング」の得点を0点として取り扱います。(リスニングを免除された者は、筆記試験の得点を配点に換算します。)

(5) 入学志願者の個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報については、入学者選抜に関わる業務(入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。)及び入学後の教務関係(学籍、修学指導等)、学生支援関係(健康管理、奨学金申請、課外活動支援等)、授業料等に関する業務を行うために利用することがあるとともに適切に管理します。

他の目的での利用及び本学関係教職員以外への提供は一切行いません。

(6) 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、医学部(医学科・保健学科)及び農学部(共同獣医学科)志願者は11月8日(金)、地域学部、医学部(生命科学科)、工学部及び農学部(生命環境農学科)志願者は、12月6日(金)までに、次の事項を記載した文書(様式任意)に医師の診断書又は障害者手帳の写しを添えて、学生部入試課へ提出してください。

また、上記期限後に、不慮の事故等により、配慮が必要となった者は、その時点で速やかに相談してください。

なお、本学が必要と認めた場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

- | | |
|---------------------|---------------------------|
| ① 志願者の氏名、住所、連絡先電話番号 | ⑤ 受験上希望する配慮 |
| ② 出身学校 | ⑥ 修学上希望する配慮 |
| ③ 入試区分、志望学部、学科等 | ⑦ 出身学校でとられていた修学上及び生活上等の措置 |
| ④ 障がいの種類・程度 | ⑧ 日常生活の状況 |

(7) 受験票の発送について

受験票は出願期間終了後、一括して発送します。下記の発送予定日から一週間過ぎても届かない場合は、学生部入試課又は出願学部を確認してください。

医学部(医学科・保健学科)及び農学部(共同獣医学科)	12月20日(金)頃
地域学部、工学部及び農学部(生命環境農学科)	1月28日(火)頃
医学部(生命科学科)	1月29日(水)頃

2. 試験日時等

学部	学 科 等	試 験 日	科目等	試験時間	試 験 場
地域学部	地域学科 国際地域文化コース	2月8日(土)	面 接	9:30～	鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学地域学部
医学部	医学科 生命科学科	2月8日(土)	面 接	9:30～	米子市西町86番地 鳥取大学医学部
	保健学科		小論文	9:30～ 11:00	
			面 接	12:00～	
工学部	電気情報系学科 化学バイオ系学科 社会システム土木系学科	2月7日(金)	面 接	9:30～	鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部
農学部	生命環境農学科	2月7日(金)	面 接	9:30～	鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学農学部
	生命環境農学科(B) のみ	2月8日(土)	小論文	9:30～ 11:30	
	共同獣医学科	2月7日(金)	小論文	9:30～ 11:30	
		2月8日(土)	面 接	9:30～	

(注) 試験開始時刻30分前までに指定の場所に集合してください。

3. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、試験開始時刻30分前までに志望する学部の指示する場所に集合してください。
- (2) 試験当日は、**本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票を必ず持参**してください。
(※発送予定日から一週間過ぎても受験票が届かない場合は、必ず本学に問い合わせてください。)
なお、**本学の受験票及び大学入試センター試験の受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験終了後も大切に保管しておいてください。**
- (3) **試験開始時刻に遅れた者は、係員に申し出て指示を受けてください。遅刻者の取扱いについては、受験票等返送の際にお知らせしますので、必ず確認してください。**
- (4) **試験開始から終了までの間は退室を認めません。**試験中の発病又は用便等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- (5) 机の上には、受験票のほか、黒鉛筆(シャープペンシル可)、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけ取り出したもの)及び指定された物品以外の携行品を置くことはできません。
- (6) 携帯電話等は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。
- (7) 試験場の下見では、建物内への立ち入りを禁止します。
なお、各試験室の位置等については、試験前日の15時から、各試験場入口に掲示します。
- (8) **やむを得ず試験を欠席する場合は、必ず事前に学生部入試課又は受験学部に連絡のうえ高等学校等長名により、その旨文書で提出してください。(様式任意)**
- (9) その他学部から別途指示がある場合は、それに従ってください。

4. 合否判定方法

学部	学科等	合否判定方法
地域学部	地域学科 国際地域文化コース	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。
医学部	医学科	「一般枠」「地域枠」のそれぞれの区分で総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、面接の得点の高い者を上位とし、さらに同点の場合はセンター試験の数学及び理科の合計点の高い者を上位とします。 ・「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。 ・なお、面接試験において医療人としての適性を評価し、不適格と判定した場合は、不合格とすることがあります。
	生命科学科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。 ・なお、センター試験の数学・理科・外国語の合計が概ね70%に満たない場合は、合格者となりえないことがあります。
	保健学科 看護学専攻	「一般枠」「地域枠」の2つの区分に関わらず総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。 ・「一般枠と地域枠の両方」の区分で出願した場合の合否判定方法は、「地域枠」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、「一般枠」として選抜の対象となります。
	保健学科 検査技術科学専攻	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。
工学部	電気情報系学科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。
	化学バイオ系学科	
	社会システム土木系学科	
農学部	生命環境農学科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。 ・募集方法 (B)「地域貢献型」の合否判定方法は、募集方法 (B)「地域貢献型」を優先して選抜し、合格者とならなかった場合、募集方法 (A)「課題探求型」として選抜の対象となります。
	共同獣医学科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、同順位とします。

5. 合格発表 令和2年2月12日(水)

合格者に「合格通知書」を送付するとともに、鳥取大学ホームページ(<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載します。(午前11時頃の予定。掲示による合格発表は行わないので、注意してください。)

また、合否の結果を高等学校等の長へ文書で通知します。なお、電話等による合否の問い合わせには一切応じません。

試験当日又は前日に、大学周辺や主要駅前において「合否至急電話連絡」などの勧誘を行う者がいますが、本学とは一切関係ありませんのでご注意ください。

6. 入学手続

(1) 手続期限・場所

合格者は、入学手続書類を**令和2年2月19日(水)17時まで**に**必着**となるように「簡易書留・速達」として、送付してください。入学手続の詳細については、合格者に別途お知らせします。

来学のうえ手続される場合は、事前に電話連絡のうえ、入学手続書類を揃え、令和2年2月19日(水)17時まで、次の「入学手続場所」で手続を行ってください。(受付時間：9時～17時)

○送付先・入学手続場所

地域学部・工学部・農学部	医学部
〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学学生部入試課	〒683-8503 米子市西町86番地 鳥取大学米子地区事務部学務課

(2) 入学手続時に提出するもの

- ① 令和2年度大学入試センター試験受験票(入学手続完了後、返却します。)
- ② 令和2年度鳥取大学推薦入試Ⅱ受験票(入学手続完了後、返却します。)
- ③ 入学料振込済証明書
- ④ 学生証用写真台紙(本学所定の様式(写真添付※))
※縦4cm×横3cm。正面・無帽・肩口まで・無背景で、提出前3か月以内に撮影したもの。
- ⑤ 卒業証明書又は修了証明書 1通
卒業見込み又は修了見込みで受験した者は、卒業式後に学生部入試課に提出してください。「卒業」で受験した者は、提出の必要はありません。)
- ⑥ 上記以外の本学所定のもの

(3) 入学料等

- ① **入学料 282,000円(予定額)**
 - ・合格者には所定の振込用紙を送付しますので、入学手続期限までにお振り込みください。
 - ・振込方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
 - ② **授業料 年額 535,800円〔前期分 267,900円 後期分 267,900円〕(予定額)**
 - ・納入期限は、前期は5月末日、後期は11月末日です。
 - ・本学では授業料の納入を、口座振替方式としています。
 - ・口座振替手続等詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- (注) 上記の入学料、授業料は予定額です。入学時及び在学中に改定があった場合は、改定後の入学料、授業料を納入していただくこととなりますのであらかじめご了承ください。

(4) 留意事項

- ① 推薦入試合格者の入学辞退は、原則として認められません。
ただし、特別の事情があり入学を辞退する場合は、令和2年2月19日(水)までに推薦学校等の長を経由して「入学辞退願」(様式任意)を提出し、その許可を得なければなりません。
- ② 推薦入試合格者は、他の国公立大学・学部(※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)を受験しても合格者となりません。
ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。
※公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/>)参照
- ③ 合格者が所定の期日までに入学手続を行わなかった場合は、合格者としての権利を失います。この場合、いずれの国公立大学の個別学力検査等を受験しても入学許可を得られません。
ただし、本学へ「入学辞退願」を提出し、許可された者は除きます。
- ④ 国公立大学の一般入試における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入試センター試験の受験番号に限って、推薦入試の合格及び入学手続等に関する個人情報、大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

7. 学生生活案内

(1) 学寮、民間アパート等

鳥取地区学寮の詳細については、学生部学生生活課学生支援係（TEL（0857）31-5058）へ、医学部学寮（医学部医学科）の詳細については、米子地区事務部学務課学生係（TEL（0859）38-7100）へお問い合わせください。

鳥取地区の民間アパート等については、鳥取大学生生活協同組合（TEL（0857）28-1100）等へ、米子地区の民間アパート等（医学部医学科）については鳥取大学生生活協同組合医学部ショップ（TEL（0859）31-6030）等へお問い合わせください。

※鳥取大学ホームページ参照

鳥取大学ホームページ>キャンパスライフ>学生生活サポート>学寮、アパート・マンション

(2) 入学料の免除・徴収猶予制度

次のいずれかの要件に該当し、入学料の納入が著しく困難であると認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、入学料を免除（全額又は半額）する制度があります。

- ①入学前1年以内に、学生（本人）の学資を主として負担する者（以下「学資負担者」という。）が死亡した場合
- ②入学前1年以内に、本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- ③上記①②に準ずる場合で、学長が相当と認める事由がある場合

また、経済的理由により納入期限までに入学料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合は、入学料の徴収を一定の期間猶予する制度があります。

詳細については、学生部学生生活課奨学係（TEL（0857）31-5059・6776）へお問い合わせください。

※現在、政府において検討されている高等教育無償化制度（高等教育段階の教育費負担軽減）に伴い、既存の入学料・授業料免除制度についても要件等が変更となる場合があります。

(3) 授業料の免除制度

次のいずれかの要件に該当し、授業料の納入が著しく困難であると認められる場合は、本人の事前申請に基づき選考の上、その期の授業料を免除（全額又は半額）する制度があります。

- ①経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合
- ②入学前1年以内に、学資負担者が死亡した場合
- ③入学前1年以内に、本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
- ④上記②③に準ずる場合で、学長が相当と認める事由がある場合

(注) 入学料の免除又は徴収猶予を希望される方は、審査の結果が出る前に入学料を納入すると入学料の免除又は徴収猶予の申請の資格を失います。納入された入学料は、いかなる理由があっても返還できませんので注意してください。授業料についても同様です。

詳細については、学生部学生生活課奨学係（TEL（0857）31-5059・6776）へお問い合わせください。

※現在、政府において検討されている高等教育無償化制度（高等教育段階の教育費負担軽減）に伴い、既存の入学料・授業料免除制度についても要件等が変更となる場合があります。

(4) 国の教育ローン（日本政策金融公庫）

本学に入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

学生1人につき350万円以内を固定金利で利用でき、在学期間内は利息のみの返済とすることができます。

詳細については、日本政策金融公庫教育ローンコールセンター（0570-008656（ナビダイヤル））へお問い合わせください。

(5) 奨学金制度

人物・学業ともに優秀かつ健康であって、経済的理由により修学が困難と認められる者には、本人の申請に基づき選考の上、奨学金が貸与される制度があります。

① 日本学生支援機構奨学金

奨学金の種類	貸与月額(令和元年度)	貸与期間	備考
第一種奨学金	20,000円, 30,000円 45,000円(自宅通学), 40,000円, 51,000円(自宅外通学)	最短修業年限 まで	無利息
第二種奨学金	20,000円～120,000円 (1万円単位) から選択可	最短修業年限 まで	利息付(利率は年3.0% が上限)

② その他の奨学金

日本学生支援機構奨学金のほか、都道府県や市町村の奨学金、民間の各種育英団体による奨学金があり、大学の推薦によるものとそれぞれの公募により直接申し込みするものがあります。詳細については、学生部学生生活課奨学係(TEL(0857)31-5059・6776)へお問い合わせください。

(6) 入試成績などの利用について

日本学生支援機構奨学金等申請にかかる学力基準の審査のため、本学入学者の入試成績及び高校での成績(調査書)を利用します。

(7) 学生教育研究災害傷害保険

この保険制度は、正課、学校行事、課外活動、通学中並びに学校施設内での傷害事故(ケガなど)が起きた場合の補償制度で、本学では、全員加入としています。

※農学部学生は、学研災付帯賠償責任保険も、全員加入です。

詳細については、保健管理センター(TEL(0857)31-5065)へお問い合わせください。

(8) 医学部学生の教育課程

医学科の新入生は、1年次から米子地区(米子市西町)で修学し、生命科学科及び保健学科の新入生は、鳥取地区(鳥取市湖山町)で1年間修学し、その後米子地区で修学することとなっています。

ただし、保健学科看護学専攻新入生は、1年次後期の一部の授業科目を米子地区で実施する予定です。その際、鳥取地区-米子地区間の移動に伴う交通費・宿泊費については、本学が負担します。

(9) 農学部共同獣医学科学生の教育課程

農学部共同獣医学科の学生は、岐阜大学において受講する講義・実習科目もあります。

その際、鳥取大学-岐阜大学間の移動に伴う交通費・宿泊費などについては、ご負担いただく場合もあります。

(10) 医学部で修学するに当たって必要な経費について

医学部医学科及び保健学科での修学には臨床実習が含まれます。実習では患者等と接し、実際の診療へも参加することとなります。そのための事前の健康診断、ワクチンの接種、学生保険への加入等の経費が必要となります。(実習時期の都合でワクチン接種などを入学前に行っておいていただく場合もあります。必要な場合は別途お知らせします。)

さらに医学科では臨床実習前に行う全国共用試験の受験料も必要となります。

経費等詳細はその都度お知らせします。

8. その他

(1) 不測の事態等が発生した場合の対応について

大規模災害等の不測の事態により入学試験の予定通りの実施が困難な場合、又は交通機関の混乱等により受験者に相当程度の影響が及ぶと判断した場合は、試験時間の短縮や試験日時、入試方法及び合格発表日の変更等の対応をとることがあります。その場合、対応を以下の本学ホームページでお知らせしますので、出願及び受験の直前には特に注意してください。

【鳥取大学入学試験情報ホームページ】

PC サイト: <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

携帯電話サイト: <https://daigakuje.jp/toridai/>



(2) 受験に関する照会は、学生部入試課又は各学部教務係（医学部は学務課教育企画係）あてに郵便で行ってください。

なお、その際は、郵便番号、住所、氏名を明記し、郵便切手を貼った返信用封筒を同封してください。

(3) 入試情報の開示について

推薦入試Ⅱについては、受験者の個人成績及び合格者の成績等（満点、最高点、最低点、平均点）の開示はしません。

ノート型パソコン必携の情報処理教育について

○ノート型パソコン必携のお願い

情報化が急速な進化を遂げている現代社会において、専門分野の知識のみならず、高度な情報処理能力や、情報セキュリティ能力の備わった優秀な人材を育成することが不可欠であるため、新入生全員にノート型パソコンを必携していただいています。

ノート型パソコンは、情報教育や英語教育、専門科目等の授業において使用するほか、講義レポートの作成や提出、修学上必要となる履修登録や自己の成績確認、授業料免除申請及び奨学金貸与の申込みなど、様々な用途で幅広く活用することになります。

つきましては、ご入学に際して保護者の方々の経済的な負担は相当なものと思いますが、本学の情報教育の趣旨をご理解いただき、ノート型パソコンをご準備いただきますようお願いいたします。

※ご準備いただくパソコンの性能等の情報は合格通知の際にお知らせする予定です。

○経済的事情によりノート型パソコンの準備が困難な方へ

本学では、経済的事情によりノート型パソコンを準備することが困難な方に対する措置として、大学所有のノート型パソコンを授業時間に限り貸し出します。

※詳細は、合格通知の際にお知らせする予定です。

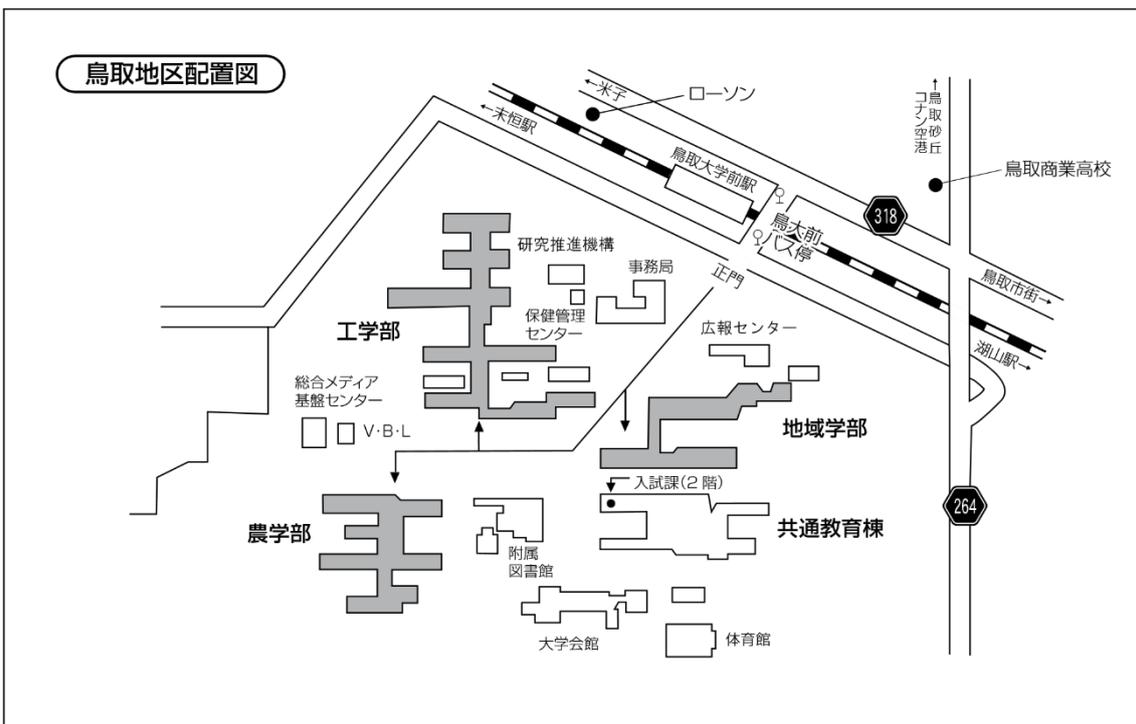
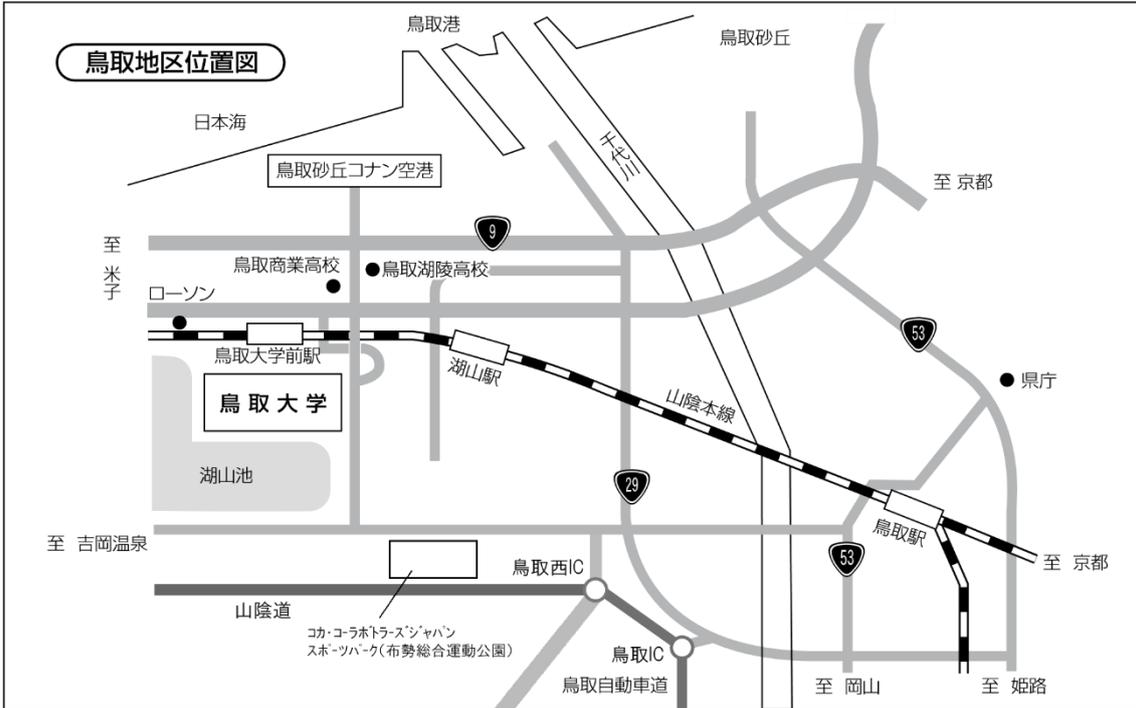
※ ノート型パソコン必携に関する問い合わせ先

学生部教育支援課教務支援係 (TEL (0857) 31-6774)

試験場案内

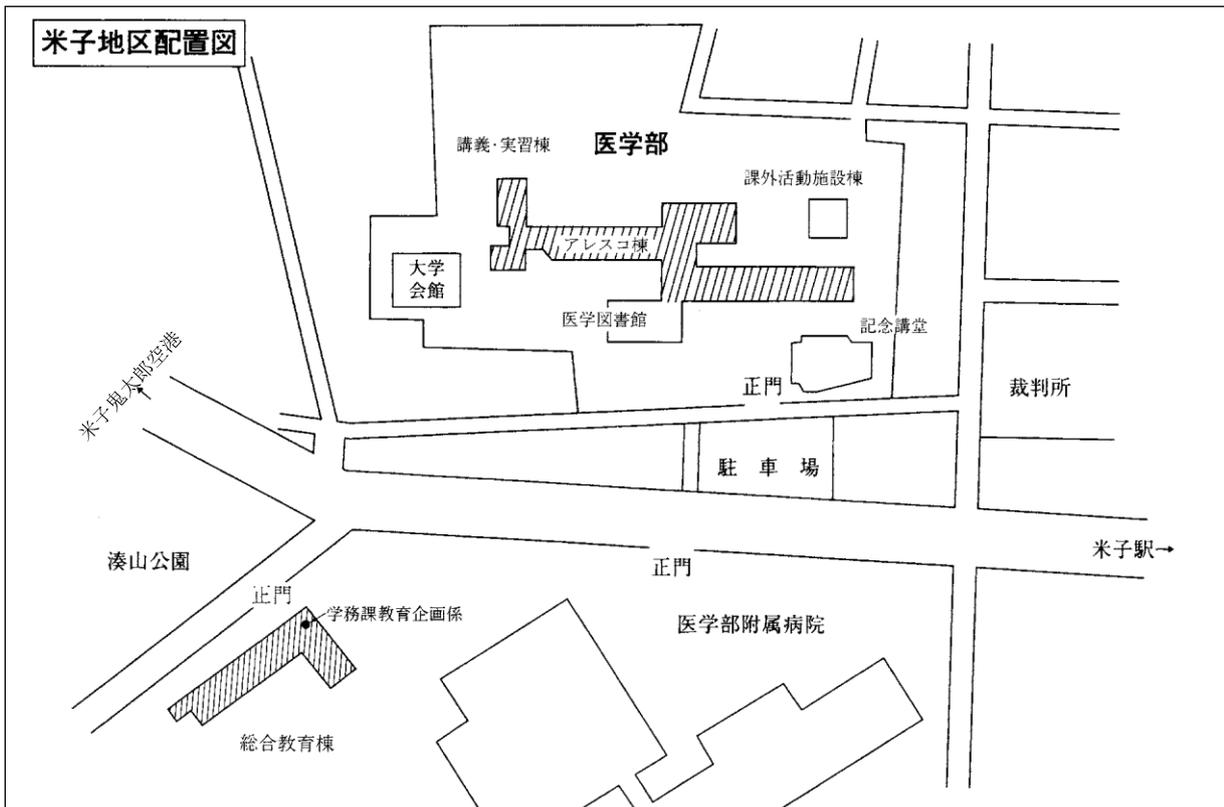
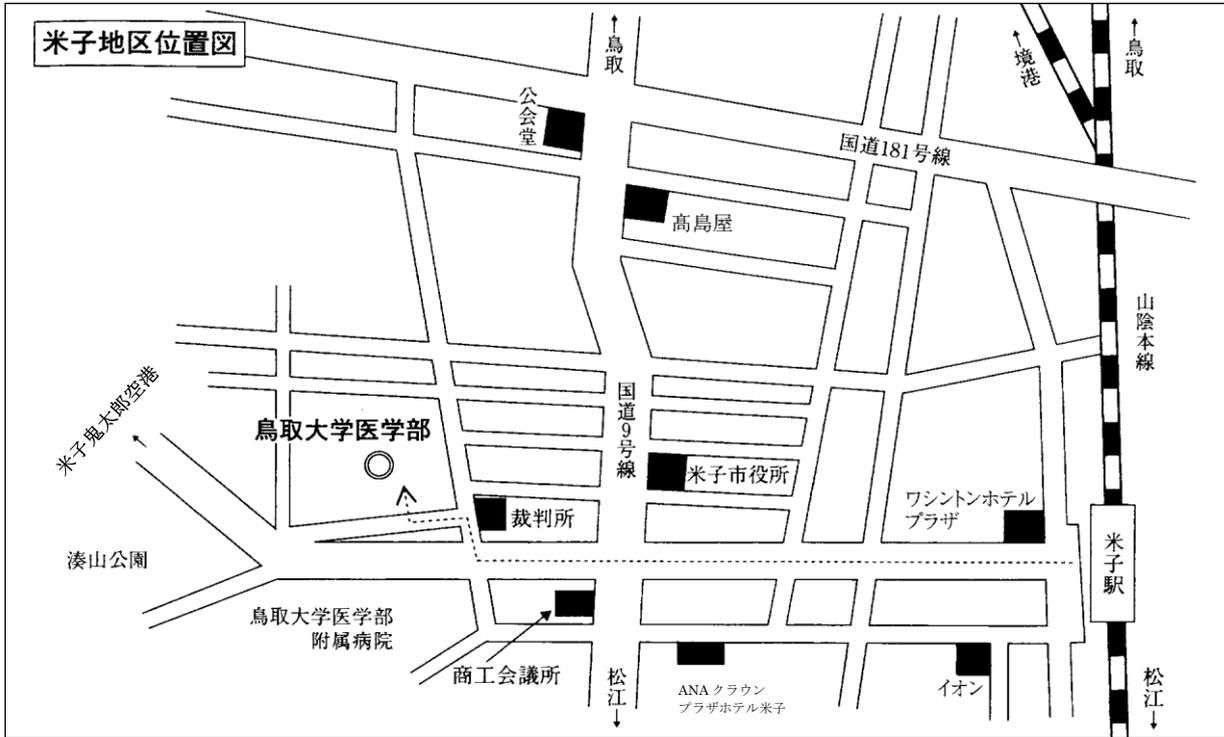
鳥取地区（地域学部，工学部，農学部）

- 試験場案内 ① J R鳥取大学前駅で下車すぐ
 ② J R鳥取駅北口バスターミナルからバスを利用し，鳥大前下車（所要時間約 30 分）
 ③ 鳥取砂丘コナン空港からタクシーで約 5 分，徒歩約 30 分
 ※飛行機を利用の場合は，天候不順による遅延・欠航にご留意願います。



米子地区（医学部）

- 試験場案内 ① J R米子駅から医学部まで徒歩約 15 分（1.0km）
 ② 米子鬼太郎空港から米子駅までバスで約 30 分
 ※飛行機を利用の場合は、天候不順による遅延・欠航にご留意願います。



入学に必要な学部別納入経費（予定）

入学にあたっては入学料・授業料のほか、以下の経費が必要となりますのでご確認ください。なお、納入方法等については別途お知らせします。

学 部	事 項	金 額	
地 域 学 部 合計 62,750 円	T O E I C 受 験 料 ※1	3回分 9,450 円	
	学生教育研究災害傷害保険料	4年分 3,300 円	
	助 成 会 会 費 (入会金 4,000 円を含む)	4年分 16,000 円	
	同 窓 会 入 会 金	5,000 円	
	同 窓 会 会 費	終身会員 15,000 円	
	学 生 活 動 支 援 会 費	4年分 4,000 円	
	体 育 会 会 費	入会金 10,000 円	
医 学 部 合計 127,800 円 医学科 102,170 円 保健学科 98,170 円	T O E I C 受 験 料 ※1 (医 学 科 除 く)	2回分 6,300 円	
	学生教育研究災害傷害保険料	医 学 科 6年分 4,800 円 生 命 科 学 科 4年分 3,370 円 保 健 学 科 4年分 3,370 円	
	後 援 会 会 費 (入会金 15,000 円を含む)	医 学 科 6年分 60,000 円 生 命 科 学 科 4年分 39,000 円 保 健 学 科 4年分 35,000 円	
	同 窓 会 入 会 金	20,000 円	
	同 窓 会 会 費	10年分 30,000 円	
	学 生 自 治 会 費 ※2 (入会金 1,000 円を含む)	医 学 科 6年分 13,000 円 生 命 科 学 科 3年分 7,000 円 保 健 学 科 3年分 7,000 円	
	学 生 活 動 支 援 会 費 (医 学 科 除 く)	1年分 1,000 円	
	体 育 会 会 費 (医 学 科 除 く)	入会金 2,500 円	
	工 学 部 合計 47,750 円	T O E I C 受 験 料 ※1	3回分 9,450 円
		学生教育研究災害傷害保険料	4年分 3,300 円
後 援 会 会 費 (入会金 4,000 円を含む)		4年分 16,000 円	
同 窓 会 入 会 金		5,000 円	
学 生 活 動 支 援 会 費		4年分 4,000 円	
農 学 部 合計 94,110 円 生命環境農学科 104,290 円 共同獣医学科	T O E I C 受 験 料 ※1	3回分 9,450 円	
	学生教育研究災害傷害保険料	生 命 環 境 農 学 科 4年分 3,300 円 共 同 獣 医 学 科 6年分 4,800 円	
	学 研 災 付 帯 賠 償 責 任 保 険 料	生 命 環 境 農 学 科 4年分 1,360 円 共 同 獣 医 学 科 6年分 2,040 円	
	後 援 会 会 費 (入会金 4,000 円を含む)	生 命 環 境 農 学 科 4年分 16,000 円 共 同 獣 医 学 科 6年分 22,000 円	
	同 窓 会 入 会 金	5,000 円	
	同 窓 会 会 費	終身会費 45,000 円	
	学 生 活 動 支 援 会 費	生 命 環 境 農 学 科 4年分 4,000 円 共 同 獣 医 学 科 6年分 6,000 円	
	体 育 会 会 費	入会金 10,000 円	

※1 本学では英語教育の一貫として、国際コミュニケーション英語能力テスト〔TOEIC (Test of English for International Communication)〕の受験を義務化しています。このための受験料を入学の際に納入していただきます。

(お問い合わせ先：学生部教育支援課教務企画係 TEL 0857-31-6773 米子地区事務部学務課教務係 TEL 0859-38-7098)

※2 医学科は新入生オリエンテーション時、生命科学科及び保健学科は2年次進級時に納入していただきます。

大学入試センター試験受験教科・科目確認表

出願にあたっては、志望する学部・学科の指定する大学入試センター試験の教科・科目を受験しているか、必ず下記表で確認してください。

【地域学部】

学 科 等	確認欄	受験を要する教科・科目名	
地 域 学 科 (国際地域文化コース)	国 語	国語を受験した。	
	地理歴史・ 公 民	世 B, 日 B, 地理 B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	} から1又は2科目を受験した。 (注) 1・2
	数 学	数 I・数 A, 数 II・数 B, 簿・会, 情報	
	理 科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 から2科目 又は物理, 化学, 生物, 地学 から1科目	
外 国 語	英, 独, 仏, 中, 韓 から1科目を受験した。		

(注) 1. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。

2. 「地理歴史・公民」、「理科」の第1解答科目と「数学」のうち、高得点の科目の成績を利用します。ただし、理科で、基礎を付した科目（2科目の合計点を得点とする。）、基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目を理科の成績とします。

【医学部】

学 科 等	確認欄	受験を要する教科・科目名	
医 学 科	国 語	国語を受験予定。	
	地理歴史・ 公 民	世 B, 日 B, 地理 B, 倫・政経	} から1科目を受験予定。(注) 1
	数 学	数 I・数 A を受験予定。 数 II・数 B を受験予定。	
	理 科	物理, 化学, 生物 から2科目を受験予定。	
	外 国 語	英, 独, 仏 から1科目を受験予定。	
生 命 学 科	国 語	国語を受験した。	
	地理歴史・ 公 民	世 B, 日 B, 地理 B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	} から1科目を受験した。(注) 1
	数 学	数 I・数 A を受験した。 数 II・数 B を受験した。	
	理 科	物理, 化学, 生物 から2科目を受験した。	
	外 国 語	英, 独, 仏 から1科目を受験した。	
保 健 学 科 (看護学専攻)	国 語	国語を受験予定。	
	地理歴史・ 公 民	世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	} から1科目を受験予定。(注) 1
	数 学	数 I・数 A, 数 II, 数 II・数 B, 簿・会, 情報 から1科目を受験予定。(注) 2	
	理 科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎 から2科目 又は物理, 化学, 生物 から2科目を受験予定。(注) 3	
	外 国 語	英, 独, 仏 から1科目を受験予定。	
保 健 学 科 (検査技術科学専攻)	国 語	国語を受験予定。	
	地理歴史・ 公 民	世 B, 日 B, 地理 B, 現社, 倫, 政経, 倫・政経	} から1科目を受験予定。(注) 1
	数 学	数 I・数 A を受験予定。 数 II・数 B を受験予定。	
	理 科	物理, 化学, 生物 から2科目を受験予定。	
	外 国 語	英, 独, 仏 から1科目を受験予定。	

(注) 1. 第1解答科目の成績を利用します。(指定する科目を第1解答科目で受験していない場合、出願資格がありません。)

2. 数学を2科目受験した場合は、高得点の科目の成績を利用します。「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。

3. 基礎を付していない科目から2科目を選択した場合は、2科目の合計点(200点満点)を配点(100点満点)に換算したものを「理科」の成績とします。

【工学部】

学 科 等	確認欄	受験を要する教科・科目名
電気情報系学科	数 学	数Ⅰ・数Ⅱを受験した。 数Ⅱ・数Ⅲ, 簿・会, 情報 から1科目を受験した。(注) 1
	理 科	物理, 化学, 生物, 地学 から1科目を受験した。(注) 3
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 から1科目を受験した。
	国 語	国語を受験した。
化学バイオ系学科	地理歴史・ 公 民	世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1科目を受験した。(注) 2
	数 学	数Ⅰ・数Ⅱを受験した。 数Ⅱ・数Ⅲ, 簿・会, 情報 から1科目を受験した。(注) 1
	理 科	化学を受験した。 物理, 生物 から1科目を受験した。
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 から1科目を受験した。
	国 語	国語を受験した。
社会システム土木系学科	地理歴史・ 公 民	世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1科目を受験した。(注) 2
	数 学	数Ⅰ・数Ⅱを受験した。 数Ⅱ・数Ⅲ, 簿・会, 情報 から1科目を受験した。(注) 1
	理 科	物理を受験した。 化学, 生物, 地学 から1科目を受験した。
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 から1科目を受験した。
	国 語	国語を受験した。

(注) 1. 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。

2. 第1解答科目の成績を利用します。

3. 理科の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を用います。

【農学部】

学 科 等	確認欄	受験を要する教科・科目名
生命環境農学科	国 語	国語(近代以降の文章のみ)
	地理歴史・ 公 民	世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1科目を受験した。(注) 1・2
	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ, 数Ⅲ・数Ⅳ, 簿・会, 情報
	理 科	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 から2科目 又は物理, 化学, 生物, 地学 から1科目を受験した。(注) 3
外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 から1科目を受験した。	
共同獣医学科	国 語	国語を受験予定。
	地理歴史・ 公 民	世Ⅰ, 世Ⅱ, 日Ⅰ, 日Ⅱ, 地理Ⅰ, 地理Ⅱ, 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1科目を受験予定。(注) 4
	数 学	数Ⅰ・数Ⅱを受験予定。 数Ⅲ・数Ⅳを受験予定。
	理 科	物理, 化学, 生物, 地学 から2科目を受験予定。
	外国語	英, 独, 仏, 中, 韓 から1科目を受験予定。

(注) 1. 「国語(近代以降の文章のみ)」, 「地理歴史・公民」の第1解答科目と「数学」のうち、高得点の科目の成績を利用します。

2. 数学で、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。

3. 基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目の成績を利用します。また、基礎を付した科目(2科目の合計点を得点とする。)及び基礎を付さない科目を受験した場合は、高得点の科目を理科の成績とします。

4. 第1解答科目の成績を利用します。

(地域学部地域学科用)

推薦書

令和 年 月 日

鳥取大学長 殿

立

高等学校
中等教育学校
学 校

所在地
学校長氏名

職印

記載責任者

下記の者は、貴学の推薦入試の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

志望コース	コース	出身校学科	フリガナ	生徒氏名	(男・女)
-------	-----	-------	------	------	-------

【入学者受入れの方針の理解】

(チェック欄：□) 大学、志望学科、志望コースの「入学者受入れの方針」を志願者に読ませて理解させました。

推薦理由

※「記入上の注意事項」を参照してください。

学業	
人物	
(社会活動を含む) 課外活動	

受験番号	(記入不要)
------	--------

推薦書記入上の注意事項

全項目について記入してください。

1. 出身校学科

高等学校設置基準第6条に該当する学科名を記入してください。

2. 入学者受入れの方針の理解

志願者に大学及び志望学科、志望コースの「入学者受入れの方針」を必ず読ませて理解させ、チェック欄“□”にチェック（☑）してください。「入学者受入れの方針」は入学者選抜概要でご確認ください。

【入学者選抜概要】

<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/R2.senbatsugaiyo-1.pdf>

3. 推薦理由、学業、人物、課外活動については、抽象的、概評的に、単に「まじめである」、「よく活動している」というようなものではなく、より具体的に、事実に基づいた事項で詳細に記入してください。

(1) 推薦理由

本人の志望理由（入学理由、本学に入学後学びたいこと、将来の希望・目標）を確認の上、「学力の3要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」の評価を踏まえ、推薦する理由を記入してください。

(2) 学業

① 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、あるいは理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

② 得意な科目、不得意な科目、好きな科目、嫌いな科目等及びそれに対する取り組みについても具体的に記入してください。

(3) 人物

調査書の「指導上参考となる諸事項」欄の内容を踏まえ、人物、性格等について、本人の特性をよく表現するような具体的事実を記入してください。

(4) 課外活動

調査書の「指導上参考となる諸事項」欄の内容を踏まえ、本人がどのような姿勢で取り組んだのか、具体的事項を記入してください。

4. その他

提出の際は、A3サイズ（片面）に印刷してください。

推薦書記入の際、様式の改変は認めません。なお、Wordファイルに直接入力する場合、フォントサイズは、10pt以上で入力してください。

(医学部用)

推薦書

令和 年 月 日

鳥取大学長 殿

立

高等学校
中等教育学校
学 校

所在地
学校長氏名

職印

記載責任者

下記の者は、貴学の推薦入試の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

志望学科	学科 専攻	出身校学科	フリガナ	
			生徒氏名	(男・女)
【入学者受入れの方針の理解】 (チェック欄：□) 大学，志望学部，志望学科・専攻の「入学者受入れの方針」を志願者に読ませて理解させました。				
推薦理由				

※「記入上の注意事項」を参照してください。

受験番号	(記入不要)
------	--------

推薦書記入上の注意事項

全項目について記入してください。

1. 出身校学科

高等学校設置基準第6条に該当する学科名を記入してください。

2. 入学者受入れの方針の理解

志願者に大学及び志望学部，志望学科，専攻の「入学者受入れの方針」を必ず読ませて理解させ、チェック欄“□”にチェック (☑) してください。「入学者受入れの方針」は入学者選抜概要でご確認ください。

【入学者選抜概要】

<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/R2.senbatsugaiyo-1.pdf>

3. 推薦理由

本人の志望理由 (入学理由，本学に入学者後学びたいこと，将来の希望・目標)を確認の上，「学力の3要素 (「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)」の評価及び人物，性格等を踏まえ，推薦する理由を記入してください。

4. その他

提出の際は，A3サイズ (片面) に印刷してください。

推薦書記入の際，様式の改変は認めません。なお，Wordファイルに直接入力する場合，フォントサイズは，10pt以上で入力してください。

枠内に収まらない場合は別紙に記載しても構いません。

(工学部用)

推薦書

令和 年 月 日

鳥取大学長 殿

立

高等学校
中等教育学校
高等専門学校
学 校

所在地
学校長氏名

職印

記載責任者

下記の者は、貴学の推薦入試の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

志望学科	学科	出身校学科	フリガナ	
			生徒氏名	(男・女)
【入学者受入れの方針の理解】 (チェック欄：□) 大学，志望学部，志望学科の「入学者受入れの方針」を志願者に読ませて理解させました。				
推薦理由				

※「記入上の注意事項」を参照してください。

学業	
人物	
(社会活動を含む) 課外活動	

受験番号	(記入不要)
------	--------

推薦書記入上の注意事項

全項目について記入してください。

1. 出身校学科

高等学校設置基準第6条に該当する学科名を記入してください。

2. 入学者受入れの方針の理解

志願者に大学及び志望学部・志望学科の「入学者受入れの方針」を必ず読ませて理解させ、チェック欄“□”にチェック（☑）してください。「入学者受入れの方針」は入学者選抜概要でご確認ください。

【入学者選抜概要】

<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/06/R2.senbatsugaiyo-1.pdf>

3. 推薦理由、学業、人物、課外活動については、単に「まじめである」、「よく活動する」というような概評ではなく、なるべく具体的事実をあげて記入してください。

(1) 推薦理由

本人の志望理由（入学理由、本学に入学後学びたいこと、将来の希望・目標）を確認の上、「学力の3要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）」の評価を踏まえ、推薦する理由を記入してください。

(2) 学業

- ① 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、あるいは理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。
- ② 得意な科目、不得意な科目、好きな科目、嫌いな科目等及びそれに対する取り組みについても具体的に記入してください。

(3) 人物

調査書の「指導上参考となる諸事項」欄の内容を踏まえ、人物、性格等について、本人の特性をよく表現するような具体的事実を記入してください。

(4) 課外活動

調査書の「指導上参考となる諸事項」欄の内容を踏まえ、受験生本人がどのような姿勢で取り組んだのか、具体的事実を記入してください。

4. その他

提出の際は、A3サイズ（片面）に印刷してください。

推薦書記入の際、様式の改変は認めません。なお、Wordファイルに直接入力する場合、フォントサイズは、10pt以上で入力してください。

(農学部生命環境農学科用)

推薦書

令和 年 月 日

鳥取大学長 殿

立 高等学校
中等教育学校
学 校

所在地 職印
学校長氏名

記載責任者

下記の者は、貴学の推薦入試の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

出身校学科	フリガナ	
	生徒氏名	(男・女)
推薦理由 (A)	募集方法 (A) : 課題探求型に推薦する理由をこちらに記入してください。	

※「記入上の注意事項」を参照してください。

受験番号	(記入不要)
------	--------

推薦理由 (B)	募集方法 (B) : 地域貢献型に推薦する理由をこちらに記入してください。
----------	---------------------------------------

※募集方法 (A) と (B) を併願する場合は推薦理由 (A) と推薦理由 (B) の両方に記入してください。

推薦書記入上の注意事項

記入の際は、下記注意事項に留意し、単に「まじめである」、「よく活動する」というような概評ではなく、なるべく具体的事実をあげて記入してください。

- 出身校学科
高等学校設置基準第6条に該当する学科名を記入してください。
- 推薦理由
 - 募集方法 (A) のみ出願する場合は、推薦理由 (A) に記入してください。
 - 募集方法 (A) と (B) を併願する場合は、推薦理由 (A) と推薦理由 (B) の両方に記入してください。
- その他
提出の際は、A3サイズ (片面) に印刷してください。
推薦書記入の際、様式の改変は認めません。なお、Word ファイルに直接入力する場合、フォントサイズは、10pt 以上で入力してください。

(農学部共同獣医学科用)

推薦書

令和 年 月 日

鳥取大学長 殿

立

高等学校
中等教育学校
学 校

所在地
学校長氏名

職印

記載責任者

下記の者は、貴学の推薦入試の要件に該当し、特に優秀な生徒であるので、責任をもって推薦いたします。

記

出身校学科		フリガナ			
		生徒氏名		(男・女)	
学 業	区分	学 年		ク ラ ス	
		生徒数	成績順位	生徒数	成績順位
	第1学年				
	第2学年				
	第3学年				
	第4学年				

※「記入上の注意事項」を参照してください。

人 物	
適 性	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン 能 力	

受験番号	(記入不要)
------	--------

推薦書記入上の注意事項

全項目について記入してください。

なお、記入の際は、下記注意事項に留意し、単に「まじめである」、「よく活動する」というような概評ではなく、なるべく具体的事実をあげて記入してください。

1. 出身校学科

高等学校設置基準第6条に該当する学科名を記入してください。

2. 学業

(1) 成績の順位は、各学年ごとに学年全体とクラスの順位を記入してください。

なお、学年内でカリキュラムが異なる場合は、同じカリキュラムを履修している者で順位付けをしてください。

(2) 授業中の活動状況、勉学の自発性、計画性、持続性、あるいは理解力、創造的思考能力等につき、なるべく具体的事実をあげて所見を記入してください。

(3) 推薦の根拠となった学業上の特別な事由を記入してください。

(4) 得意な科目、不得意な科目、好きな科目、嫌いな科目等及びそれに対する取り組みについても具体的に記入してください。

3. 人物

調査書の「指導上参考となる諸事項」欄と重複しないよう配慮し、人物、性格等についての特性をよく表現するような具体的事項を記入してください。

4. 適性

特に本人の志望学科に対する適性及び意欲等を記入してください。

5. コミュニケーション能力

高いコミュニケーション能力を持つことがわかるような具体的事実を記入してください。

6. その他

提出の際は、A3サイズ（片面）に印刷してください。

推薦書記入の際、様式の改変は認めません。なお、Wordファイルに直接入力する場合、フォントサイズは、10pt以上で入力してください。

(地域学部用)

自己推薦書

フリガナ		性別	男・女
氏名			

受験番号	※
------	---

記入要領

1. 本人が直筆で記入してください。
2. 記入にあたっては、黒インク又は黒のボールペンを使用してください。
3. コピーによるもの又は写しは、避けてください。
4. ※欄は、記入しないでください。
5. 本文の記入にあたっては、当該コースを志望する理由及び自己の長所や入学後の抱負などを、2,000字以内にまとめてください。

1	5	10	15	20	25
1					
5					
10					
15					
20					

氏名	
----	--

受験番号	※
------	---

1	5	10	15	20	25
1					
5					
10					
15					
20					
25					
30					

氏名	
----	--

受験番号	※
------	---

1	5	10	15	20	25
1					
5					
10					
15					
20					
25					

問い合わせ先

募集要項・出願手続きに関すること

学生部入試課 TEL (0857) 31-5061

入学後の生活支援に関すること

(学寮など P.23)

学生部学生生活課 TEL (0857) 31-5058 (学生支援係)

米子地区事務部学務課 TEL (0859) 38-7100 (学生係)

(入学科・授業料免除, 奨学金など P.23~P.24)

学生部学生生活課 TEL (0857) 31-5059 (奨学係)

又は 6776

入学後の教育支援に関すること

(ノート型パソコン必携について P.26)

学生部教育支援課 TEL (0857) 31-6774 (教務支援係)

米子地区事務部学務課 TEL (0859) 38-7098 (教務係)

その他受験に関する照会

鳥取市湖山町南 4 丁目 101 番地

〒680-8551 地域学部教務係 TEL (0857) 31-5077

〒680-8552 工学部教務係 TEL (0857) 31-5186

〒680-8553 農学部教務係 TEL (0857) 31-5342

米子市西町86番地

〒683-8503 米子地区事務部学務課 TEL (0859) 38-7096

鳥取大学学生部入試課

〒680-8550 鳥取市湖山町南4丁目101番地

TEL (0857) 31-5061

FAX (0857) 31-6778

E-mail st-nyushiken@ml.adm.tottori-u.ac.jp

ホームページアドレス <http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/>

携帯電話サイト <https://daigakujc/toridai/>

